

二浦周行 ひょうりやう 國史學者、文學士博士。明治四年六月四日出雲國生れ、  
 昭和六年九月六日歿（一八七一—一九三二）。幼名録之助。東京英利學校を經  
 て、帝國大學文科大學國史科選科卒。東京帝國大學史料編纂掛の任じ、  
 明治四十二年京都帝國大學文科大學教授。法制史の分野で業績を上げ、  
 『法制史の研究』（大正八年）二月十五日。のうち分冊、上・昭和十八年  
 九月六日、下・十九年十一月五日岩波書店）刊行、翌年學士院恩賜賞  
 受賞。次で『續法制史の研究』（大正十四年十月十五日岩波書店）を  
 著はす。また『堺市史』の編纂にも當つた。母ナミの子に英文學者勝  
 田孝興がある。

他に『即位禮と大嘗祭』（大正三年二月二十三日京都府教育會）、『歴  
 史と人物』（大正五年四月十五日東亞堂書房）、『國史上の社會問題』  
 （大正九年十一月十五日大鏡閣。のうち、昭和十二年十一月二十五日創  
 元社『日本文化名著選』）、『日本史の研究』（大正十一年五月十日、  
 第1編・昭和五年四月十五日岩波書店）、『歴史上の大堺』（大正十  
 四年四月堺市役所）、『大禮殿』（昭和二年八月二十日東京新聞社等）、  
 『明治維新と現代支那』（昭和六年十一月十四日大江書院）等。

